2025 台南国際マンゴーフェスティバル訪問団派遣事業　報告書

1　事業概要

（1）目的

当市と友好交流関係都市提携を締結している台湾・台南市において開催される「2025 台南国際マンゴーフェスティバル」に訪問団を派遣することで、台南市との友好深化を図るとともに、１８５万人都市である台南市において開催されるイベントを肌で感じることで、当市のまちづくりに活用する方法を考える。また、フェスティバル会場内に富士宮市 PR ブースを設置することで、台南市民に当市を周知し、観光誘致につなげる。

（2）台湾・台南市について

人　　口：約１８５万人

面　　積：約２，１９２㎢

市　　長：黄　偉哲

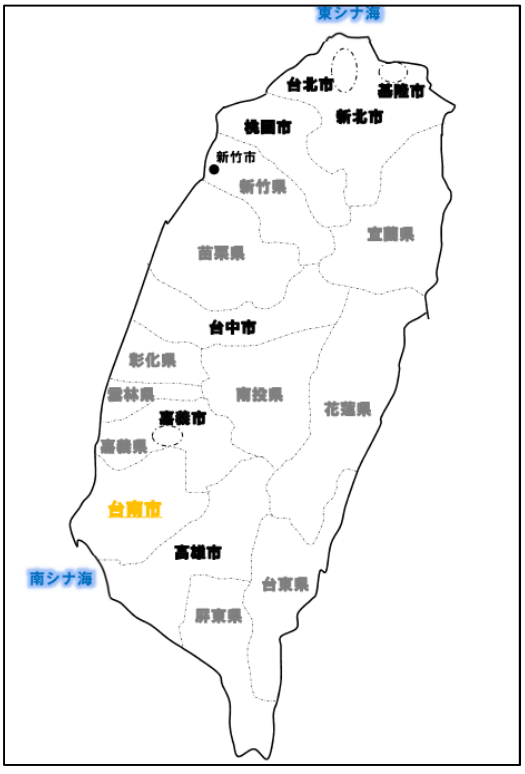
概　　要：台湾の西南部に位置し、年間の平均気温が２４．３℃と１年を通じて温暖な気候である。

台南市は台湾で最も早く拓けた地区の１つであり、台湾発祥の地とされていることから、多くの史跡が保存されている。

温暖な気候であることから、マンゴーやパイナップル、文旦などのフルーツが特産品である。

提 携 日：２０１７（平成２９）年６月２４日に友好交流関係都市提携を締結

市の位置：



2　訪問者

篠原 富士宮市副市長
市川 市民交流課長
伏見 秘書課職員
手塚 市民交流課職員
大木 観光課職員
佐藤 観光課職員
福山 第３５代ミス富士山グランプリ
渡邉 第３５代ミス富士山
候　 現地ガイド兼通訳

3　訪問日程

6/20（金）	15：00	富士宮市役所　発	
	18：45	成田空港　着	
	21：00	成田空港　発　→　BR195 にて桃園空港へ	
	23：45	桃園空港　着　→　入国手続き（時差－１時間）	
	25：30	ホテル　着　【初日終了】	
6/21（土）	6：00	ホテル　発	
	6：30	台北駅　発　→　高速鉄道で台南市へ	
	8：01	高鉄台南駅　着　→　走馬瀬農場へ	
	9：45	走馬瀬農場（マンゴーフェスティバル会場）着	
	9：45～11：30	開幕式 マンゴー調理体験 マンゴー神輿見学 名人マンゴー園見学 展覧会見学 （篠原副市長、市川、伏見、福山、候）	ブースにて PR 活動 （手塚、大木、佐藤、渡邉）
	11：30～13：00	台南市主催歓迎昼食会	
	13：20～13：50	佳里ライオンズクラブとの交流会	
	14：00～14：20	ブース撤収	
	14：30	走馬瀬農場　発　→　ホテルへ	
	15：15	ホテル　着	
	16：15	台南市内視察	
	18：30	台南市内にて夕食	
	19：45	ホテル　着　【２日目終了】	

6/22（日）	8：45	ホテル　発　→　高鉄台南駅へ
	9：15	高鐵台南駅　着
	9：48	高鐵台南駅　発　→　高鉄桃園駅　へ
	11：09	高鉄桃園駅　着　→　MRT に乗り換え桃園空港駅へ
	11：30	桃園空港駅　着　→　桃園空港へ徒歩で移動
	12：00	空港内にて昼食
	13：15	出国手続き
	15：20	桃園空港　発　→　BR196 にて成田空港へ
	19：40	成田空港　着　→　入国手続き（時差＋１時間）
	20：30	成田空港　発　→　富士宮市役所へ
	24：15	富士宮市役所　着　【３日目終了】

4　現地での様子

● マンゴーフェスティバル開幕式

多くの方が来場する中、盛大に開幕式が行われました。

富士宮市以外にも、日本からは群馬県みなかみ町や茨城県那珂市、北海道富良野市がマンゴーフェスティバルに参加していました。

開幕式での記念撮影

開幕式会場の様子

篠原副市長によるマンゴーの木の植樹

須藤市長が植樹した
マンゴーの木の前で記念撮影

● 台南市主催公式行事（マンゴー調理体験～展覧会見学）

走馬瀬農場内にて、マンゴーに関する体験や展覧会見学に参加しました。

台南市の特産品であるマンゴーを活かした創意工夫が見られ、参考となる取り組みでした。

マンゴー調理体験

マンゴー展覧会視察

● ブースにおける PR 活動

走馬瀬会場内に設置されたブースにて富士宮市の PR 活動を行いました。

ブースでは富士宮市のパンフレット（５種類、各５０部ずつ）の配布及び富士山写真の展示、また日本酒（高砂酒造、牧野酒造、富士正酒造、富士錦酒造それぞれ１本（720ml））とお茶（２ℓ×４本）の試飲を実施。

多くの方にパンフレットを手に取ってもらうことができ、試飲については９時～１１時の間で終了するなど大盛況でした。多くの台南市民に友好都市である当市のことを PR することができました。

富士宮市 PR ブース

● 台南市主催による歓迎昼食会

走馬瀬農場内にある蘭花会館にて、趙 台南副市長が台南市側の主となり歓迎昼食会が開催されました。昼食会では記念品交換が行われ、当市から台南市には富士宮市内在住の陶芸家である小割哲也氏の作品「織部裂文鉢」を贈呈しました。

また、篠原副市長が乾杯の挨拶を務めました。今後も台南市と多くの交流により友好を深めていきたい旨を伝え、乾杯の音頭を取りました。
昼食会では、台南市政府職員との交流はもちろんのこと、同じく台南市と提携を結ぶ日本の他市町と交流を行うことができ、今後の交流について意見交換を行うことができました。

富士宮市からの記念品贈呈

歓迎昼食会

● 佳里（チャリ）ライオンズクラブとの交流会

富士宮ライオンズクラブと国際姉妹会を締結しており、両市の交流のきっかけとなった佳里ライオンズクラブと交流会を行いました。
佳里ライオンズクラブからは、林 興劉 会長をはじめとする５人の方にご出席いただき、記念品をご準備いただくなど歓迎していただきました。
富士宮市からは、富士山写真集やお茶の詰め合わせ、富士山グラスなどを記念品としてお渡ししました。
交流会では、佳里ライオンズクラブから「今後も両市の交流に協力していく」という旨の力強いお言葉をいただくとともに、ぜひ富士宮市にお越しいただくようお伝えしました。

佳里ライオンズクラブとの交流の様子

佳里ライオンズクラブの皆様と記念撮影

５　成果報告

今回、友好交流関係都市である台南市で開催された「2025 台南国際マンゴーフェスティバル」に参加し、人口１８５万人を数える大都市である台南市の熱気を肌で感じることができました。多くの来場者数からも見て取れるイベントの規模感に加え、当市をはじめとする海外友好都市への歓待の様子から、当市においてイベントを実施するうえで非常に参考となる催しでした。

今年のマンゴーフェスティバルでは、９時までに来場すると入園料が無料になるという取組を初めて実施したそうで、これが功を奏し、例年よりも非常に多い来場者となったそうです。また、会場の広大な敷地を活かし、マンゴー農場以外にもイベント会場やアトラクションなどが整備されており、特産品を活用したイベントづくりのお手本となるものだと感じました。

多くの来場者があったマンゴーフェスティバル会場内にて、当市の PR ブースを設置しましたが、先に記載したとおり、日本酒やお茶の試飲が数時間で終了するなど大盛況でした。

台湾から日本への観光客は非常に多く、富士山を目的とする方も少なくありません。しかし、そのほとんどが山梨県側を訪れている現状があります。そのような中、多くの台南市民に当市について PR することができたことは、当市の知名度向上に寄与するものでした。

台南市は、台湾で最も早く拓けた場所であることから、史跡が数多く存在しています。その一方で、人口１８５万人を要する都市であることから、中心市街地の整備が進んでいます。この状況は、異文化体験や海外の発展を目の当たりにするための環境として適当であると考えます。

また、台湾の方は日本人に対して非常に友好的です。このことが、私たちの受けた盛大な歓待につながっていると考えます。

これらより、富士宮市が国際文化都市となっていくためには、台南市との交流は非常に効果的であると考えます。多くの富士宮市民に台南市民と交流してもらうために、マンゴーフェスティバルのようなイベントに引き続き参加しつつ新たな交流を模索し、ますます台南市との友好を深めていく必要があると今回の訪問を通じて感じました。